

# CADP 運営委員会

CADPに参加したみなさん！CADPは**2回目以降**が、面白いんです！  
いっしょに、学会運営という「**大人の学園祭**」を楽しみましょう！

## ● CADPとは？

CADP (the Course for Academic Development of Psychiatrists) は、国内・海外の若手精神科医が一同に集まり、2泊3日の合宿形式で行う研修会で、日本若手精神科医の会 (JYPO) の最大の活動の1つです。英語を公用語として、口頭発表、ポスター発表、小グループに分かれての討論や協働作業のほか、司会や座長業務、懇親会も含め、3日間を通して参加者が能動的にプログラムへ取り組むことができるように構成されています。特別講師として、CADPの開発者である元世界精神医学会会長の Norman Sartorius 先生をはじめ、精神医学領域において世界的に高名な先生方をお招きし、先人の知恵や最新の知見が詰まったご講演をいただいております。これらのプログラムを通して、各参加者は単に知識を得るだけでなく、学術的・国際的な視点や技術が獲得できるように、また、参加回数を重ねることにより学びが深まるように設計されており、2002年より毎年開催しています。（※COVID-19流行下はオンラインで代替イベント：JOIN Meetingを開催しました）

本会の終了後も、イベントの開催や共同研究など、国内外の若手精神科医同士活発な交流を行っており、相互の研鑽や、JYPOの活性化に寄与しています。

## ● CADP運営委員会とは？

この委員会は、文字通り CADP を運営することを主眼としています。大会長・副大会長のほか、各役職の 10 数名が手分けして、事務局とも連携しながら準備を進め、企画・運営を行います。各役職の内容は概ね下記のようなものです。

- ・ 大会長・副大会長：CADP 全体を統括し、プログラムの大枠を決定する
- ・ 国内係：事前グループなどを介して国内参加者に必要な情報を周知する
- ・ 海外係：海外参加者の選定およびメールを介して情報を周知する
- ・ SGW 係：小グループワークの内容を吟味し、準備・当日の進行を担当する
- ・ 宴会係：Reception dinner 等の企画・準備を行う

## ● CADPへの参加の意義

私自身の CADP 初回参加時は、自身のプレゼンテーションで精一杯で、講義内容どころか、この会自体、ひいては学会運営というものがどういった作業や業務によって支えられているかまでは到底目が向かず、理解しきれませんでした。

CADP は 2 回目、3 回目と参加回数を重ねる度に、参加者に与えられる役割が変化していきます。運営に携わりながら、CADP をより広く、様々な角度・視点

から見る事で、その度に新たな経験を得られます。さらに運営委員になると、準備段階から「どうすればより満足度が高くなるか」「どうすればより良い企画になるか」などについて、委員間で話し合い、自分達の CADP を作りあげます。これは、まるで学生時代に学園祭を作りあげる様な気持ちに似ています。

各々がこうしてみたら？等と、自由な発想で知恵や工夫を持ち寄って作りあげる喜びは、なかなか精神科医になってから味わえる物ではありません。Practical な面でも、今後のキャリアにおいてきっと有用な技能を身に付けることができますと思います。（英文メールの練習になるとか、目上の人に連絡する緊張を味わうとか、いろいろ）

面白そう！！と思うあなた、ぜひ一緒により良い CADP を作りましょう！  
あなたのアイデア・ご意見、そして運営委員へのご応募をお待ちしております。

文責：北岡 淳子

The 21st CADP 運営委員長

垂水病院

連絡先：june.kitaoka@gmail.com